

東海第二発電所

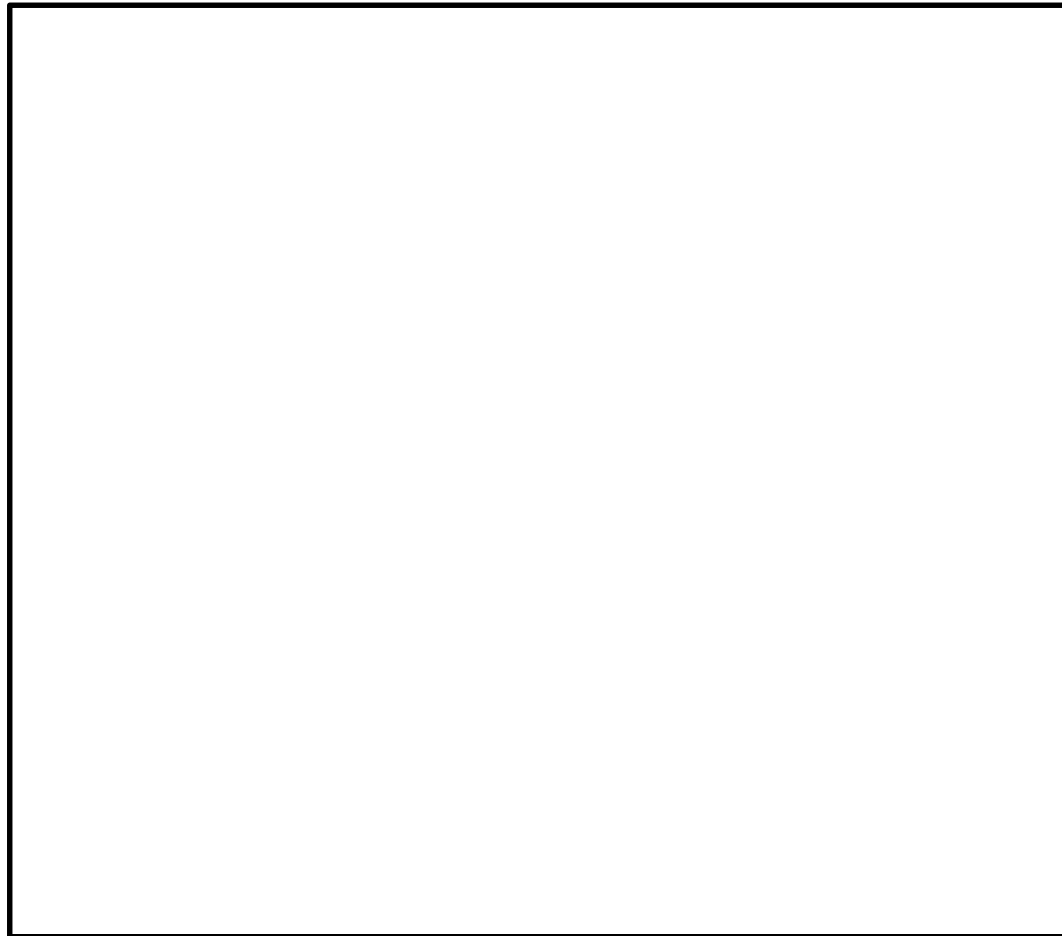
設計基準対象施設に対する津波防護区分(5条)及び
敷地に遡上する津波に対する津波防護区分(43条)
について

平成29年12月18日

日本原子力発電株式会社

本資料のうち、枠囲みの内容は商業機密
又は防護上の観点から公開できません。

1. 設計基準対象施設の津波防護対象設備の配置



【設計基準対象施設の津波防護対象設備の配置】

- : 設計基準対象施設の津波防護対象設備を内包する建屋及び区画
- : 浸水防護重点化範囲(内郭防護)
- : 防潮堤

<参考>

設計基準対象施設及び重大事故等対処施設の津波防護対象設備の分類

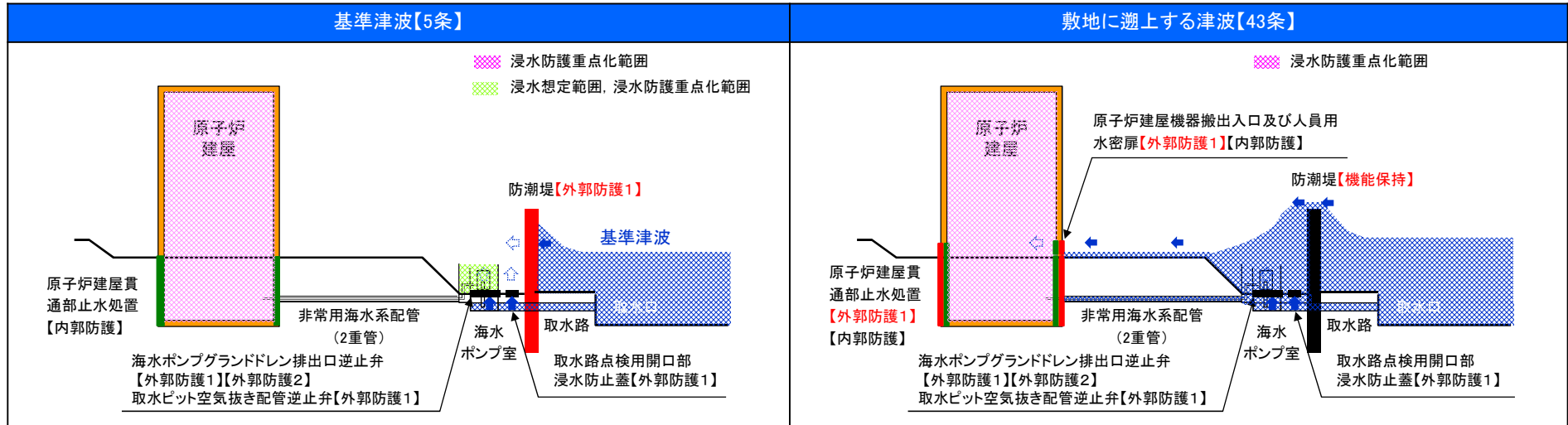
建屋及び区画	設計基準対象施設【5条】	重大事故等対処施設【40条43条】
原子炉建屋	○	○●
タービン建屋	○	
海水ポンプ室	○	○
非常用海水系配管	○	○
排気筒	○	○●
使用済燃料乾式貯蔵建屋	○	
軽油貯蔵タンク(地下式)	○	○●
常設代替高圧電源装置置場		○●
緊急用海水ポンプピット		○●
格納容器圧力逃がし装置格納槽		○●
常設低圧代替注水系格納槽		○●
SA用海水ピット		○●
常設代替高圧電源装置用カルバート		○●
東側接続口		○●
西側接続口(立坑)		○●
高所東側接続口		○●
高所西側接続口		○●
緊急時対策所		○●
可搬型重大事故等対処設備保管場所(西側及び南側)		○●

○: 設計基準対象施設及び重大事故等対処施設の津波防護対象施設・設備
 ●: 敷地に遡上する津波に対する津波防護対象施設・設備

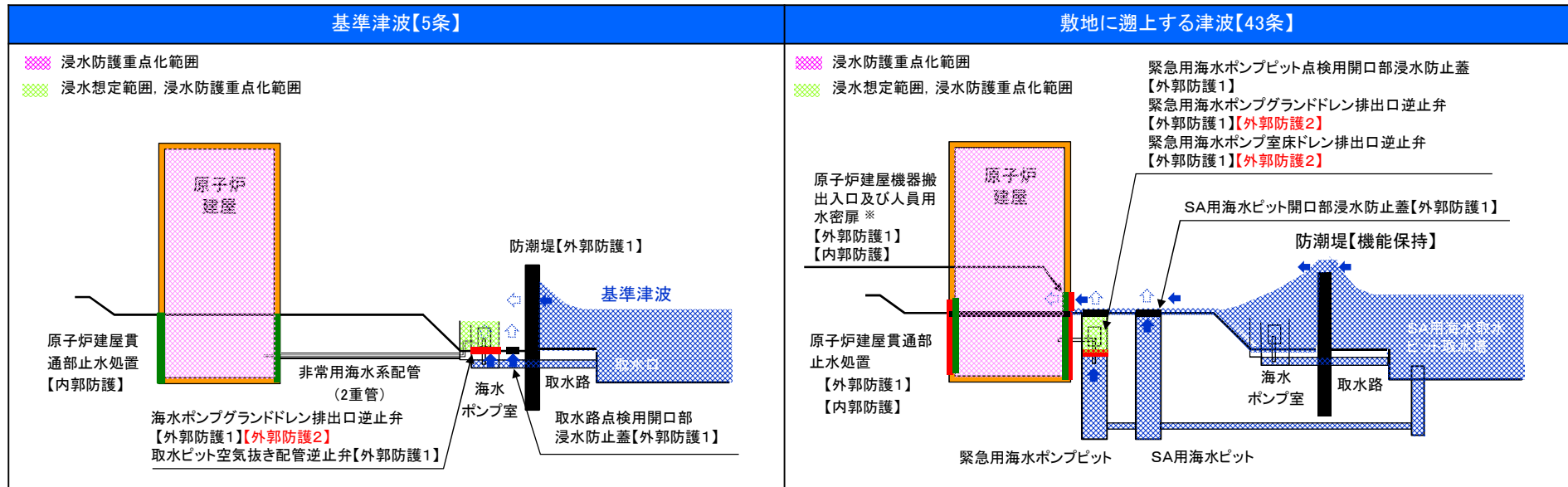
2. 設計基準対象施設及び敷地に遡上する津波による津波防護対象設備の防護区分(1/2)



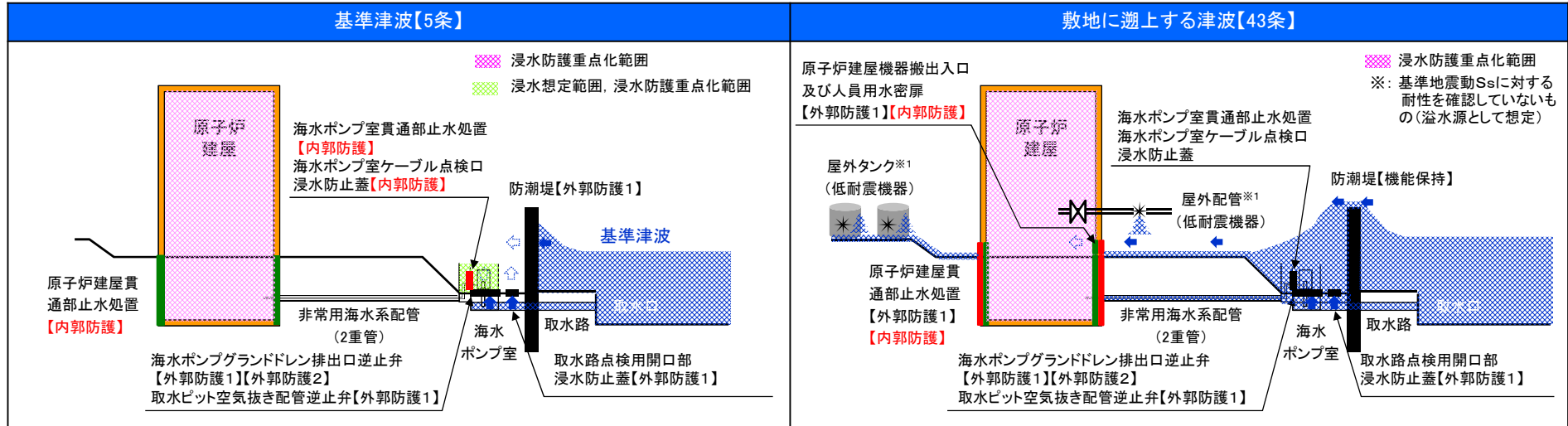
外郭防護1(遡上波の地上部からの到達. 流入防止)に対する防護区分



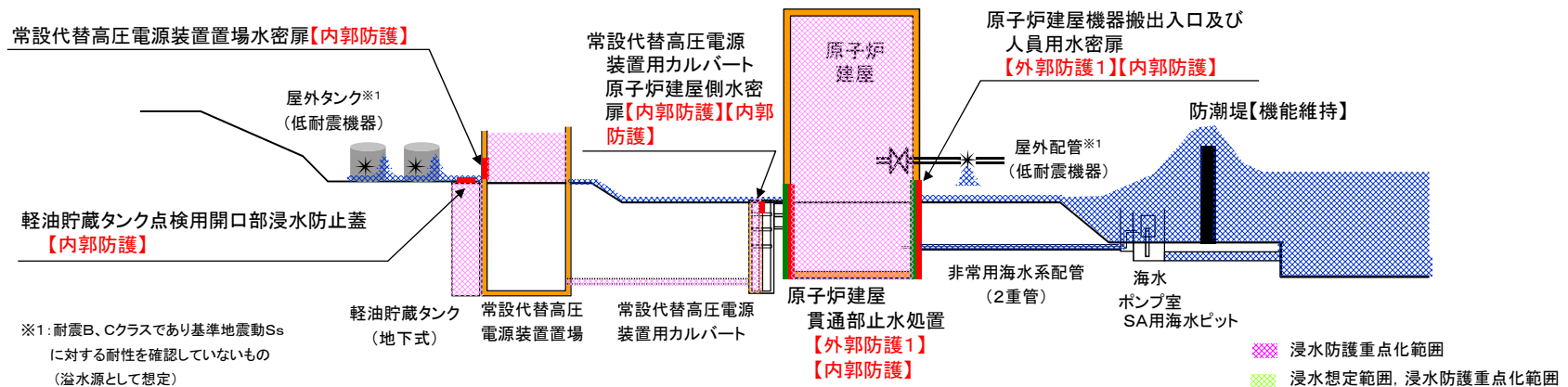
外郭防護2(浸水想定範囲の設定)に対する防護区分



内郭防護に対する防護区分



◆敷地に遡上する津波による重大事故等対処設備も含めた内郭防護の概要

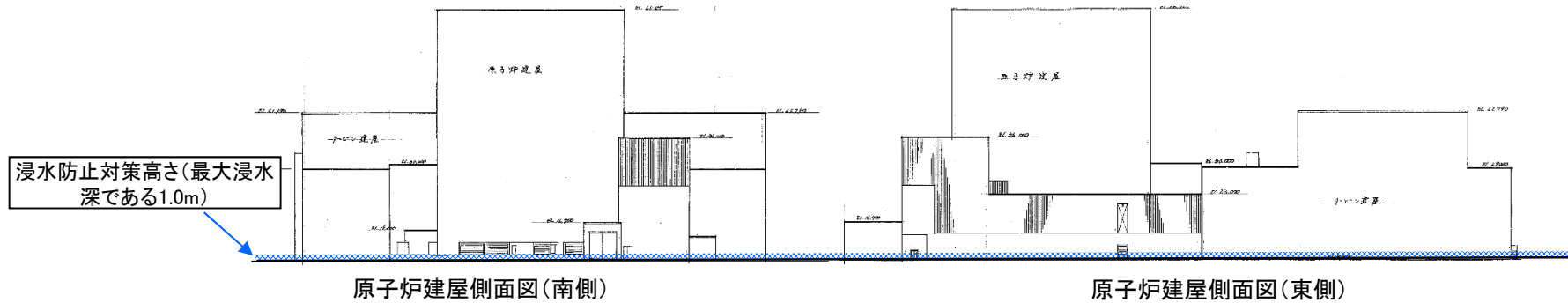


3. 設計基準対象施設に対する津波防護対策の概要(内郭防護)【5条・43条】

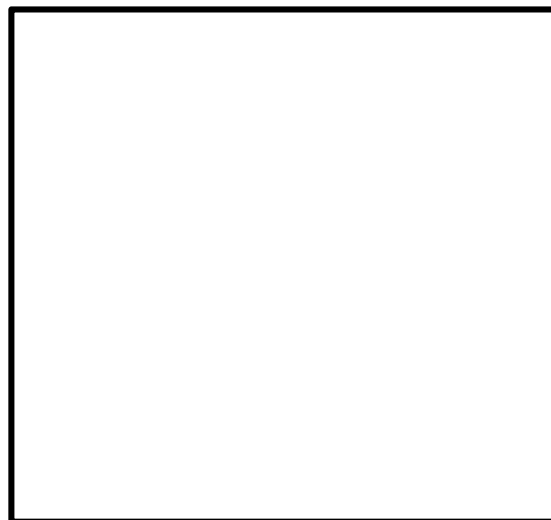
原子炉建屋(浸水防護重点化範囲)の境界における浸水防止対策(1/2)



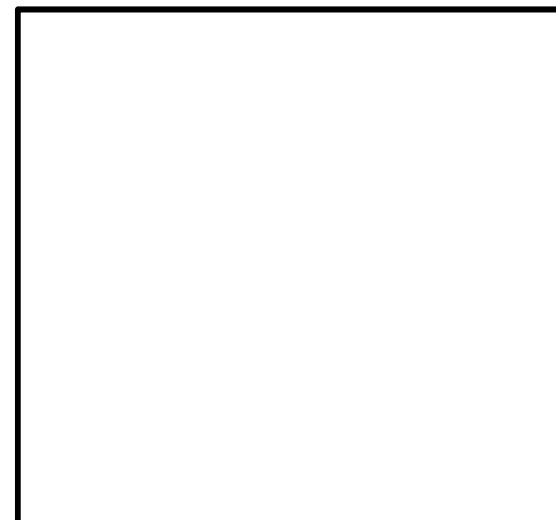
◆ 原子炉建屋の境界の範囲及び浸水防止対策(水密扉及び止水処置)は下図のとおり



※浸水防止対策については、扉、貫通部等の一部が最大浸水深である1.0m内にあれば当該部全体の対策を実施
 ※最大浸水深1.0mを超える範囲についても、十分高い位置まで対策する方針



■ 主要な防護対象設備
 ※ 境界



■ 水密扉
 ■ 貫通部止水処置

図 原子炉建屋1階(平面図)

3. 設計基準対象施設に対する津波防護対策の概要(内郭防護)【5条・43条】

原子炉建屋(浸水防護重点化範囲)の境界における浸水防止対策(2/2)

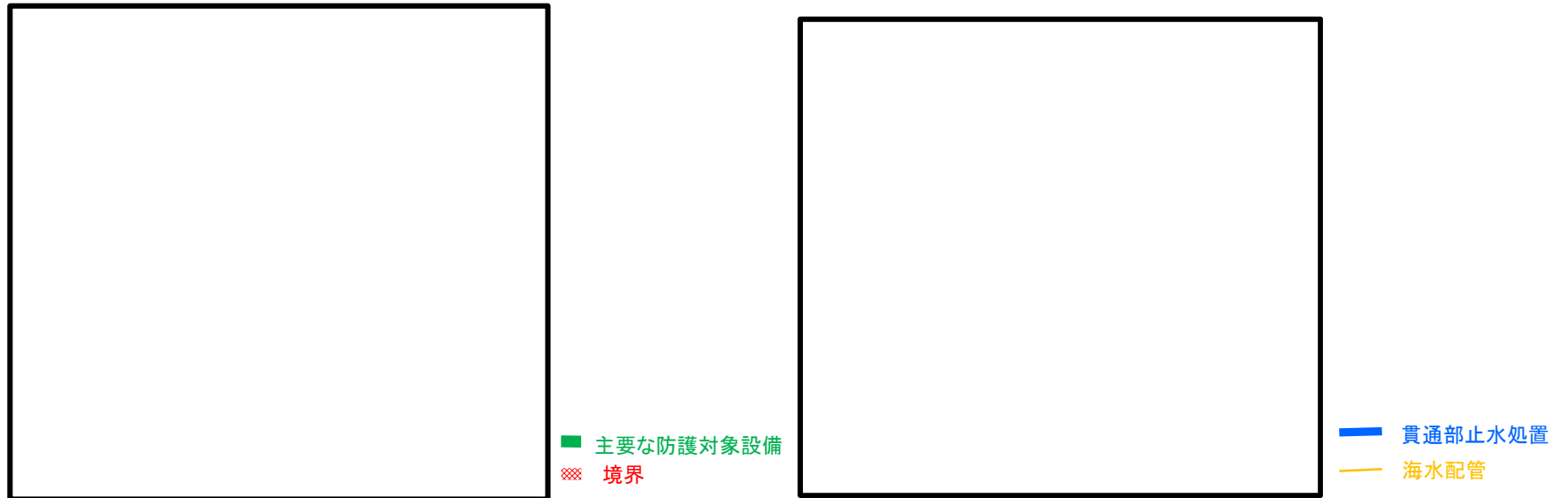


図 原子炉建屋 地下1階(平面図)

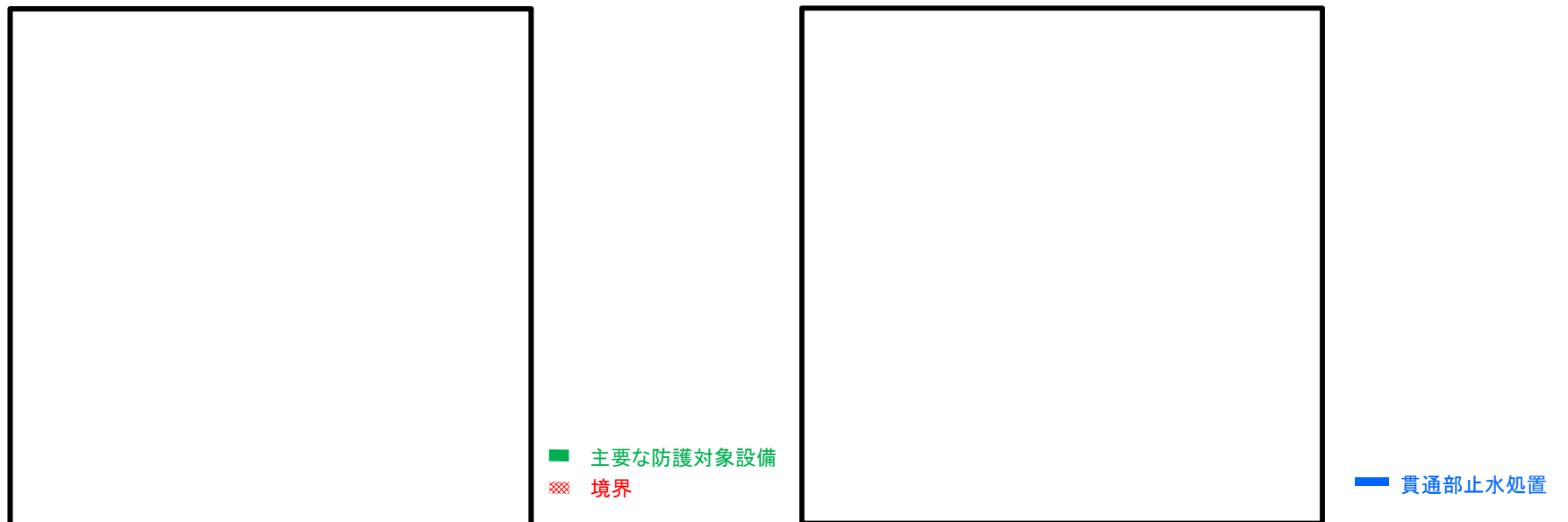


図 原子炉建屋 地下2階(平面図)